

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

熊本県・みふね町議会



第50回御船があーっぱ祭り(御船川のカッパ家族)
(8月12日～13日)

7月議会で決まったこと	2
議会運営委員会先進地視察研修	4
議会改革推進特別委員会 × 地域おこし協力隊 意見交換	6

No.190
7月議会
R5.8

審議内容

専決、契約、補正、発議の計4件を
全会一致で可決。

緊急動議

議長選挙のやりなおし

御船町議会・議長選挙に町長が介入したことを理由として5月議会で延期の緊急動議が出されたが否決された。7月議会に改めてやり直しの緊急動議が田上英司議員から提出され、5名の賛成により動議は成立したが議案としては否決された。

専決処分

本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

令和5年度御船町一般会計補正予算（第3号）

単位：千円

会計名	補正額	補正後合計額
一般会計	+51,092	13,749,506



工事請負契約の締結

御船川右岸（北木倉地区）汚水枝線 30,31,32,35,36,37,38,41,42,43,44 路線管渠築造工事

令和5年度 補正予算

令和5年度 御船町一般会計補正予算（第4号）

単位：千円

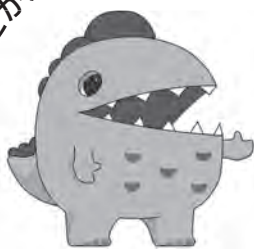
会計名	補正額	補正後合計額
一般会計	+168,793	13,918,299

発議

御船町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について



ここがポイント



PickUP

審議内容を抜粋して掲載しています。他の審議内容はホームページまたは、役場1F情報開示コーナーでご覧ください。

このQRコードからどうぞ



PickUP



北木倉地区下水道工事の概要は

問 財源のうち町の負担分の交付税算定率はいくらか。

環境保全課長 交付税の措置率は37%である。

問 下水道の供用開始はいつになるのか。

環境保全課長 令和7年度からの供用開始を目指す。

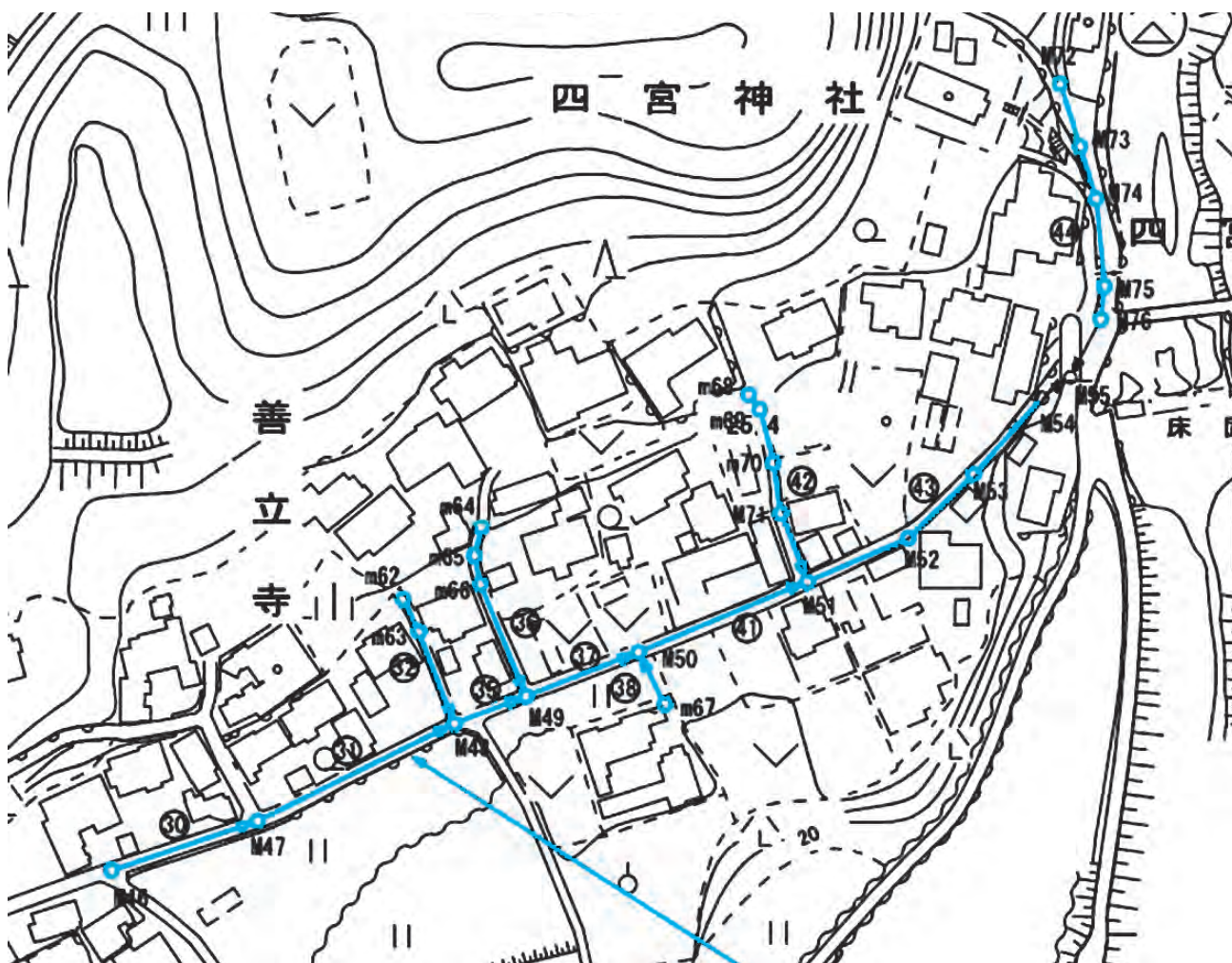
問 工事期間中の通行不能の期間はどのくらいか。

環境保全課長 議決後、受注業者との詳細な打ち合わせを行い、地元負担軽減に配慮した施工計画

を調整の上、説明会を開催する。(8月17日北木倉にて説明会実施済) また、様々な交通誘導看板の設置や事前周知も徹底して行う。

問 下水道会計が令和6年度から公会計に移行するため、県から審議員を迎えて対応されているが、減価償却についても考えるべきでは。

環境保全課長 令和6年度から企業会計(法適用)とするため、県から審議員を受け入れた。法適用後、経営戦略を策定し、分析し経営していく。



北木倉下水道工事箇所 (7月11日～9月29日)





議会運営委員会 先進地視察研修

7月24日 湧水町議会
7月25日 さつま町議会

研修テーマ

「議会ライブ中継について」
「議会運営委員会の運営について」

議会中継のライブ配信の実現に向けて

議会運営委員会 委員長 宮川一幸



7月25日 鹿児島県さつま町議会にて

7月24日と25日に、現在議会中継をライブ配信している鹿児島県の湧水町とさつま町を訪問し、視察研修を実施した。両町議会ともライブ中継は、費用削減のため、Youtube（ユーチューブ）を使用していた。そのため、ライブ配信が終わったら、映像はそのまま Youtube に履歴として残っており、いつでも視聴できる状態になっている。

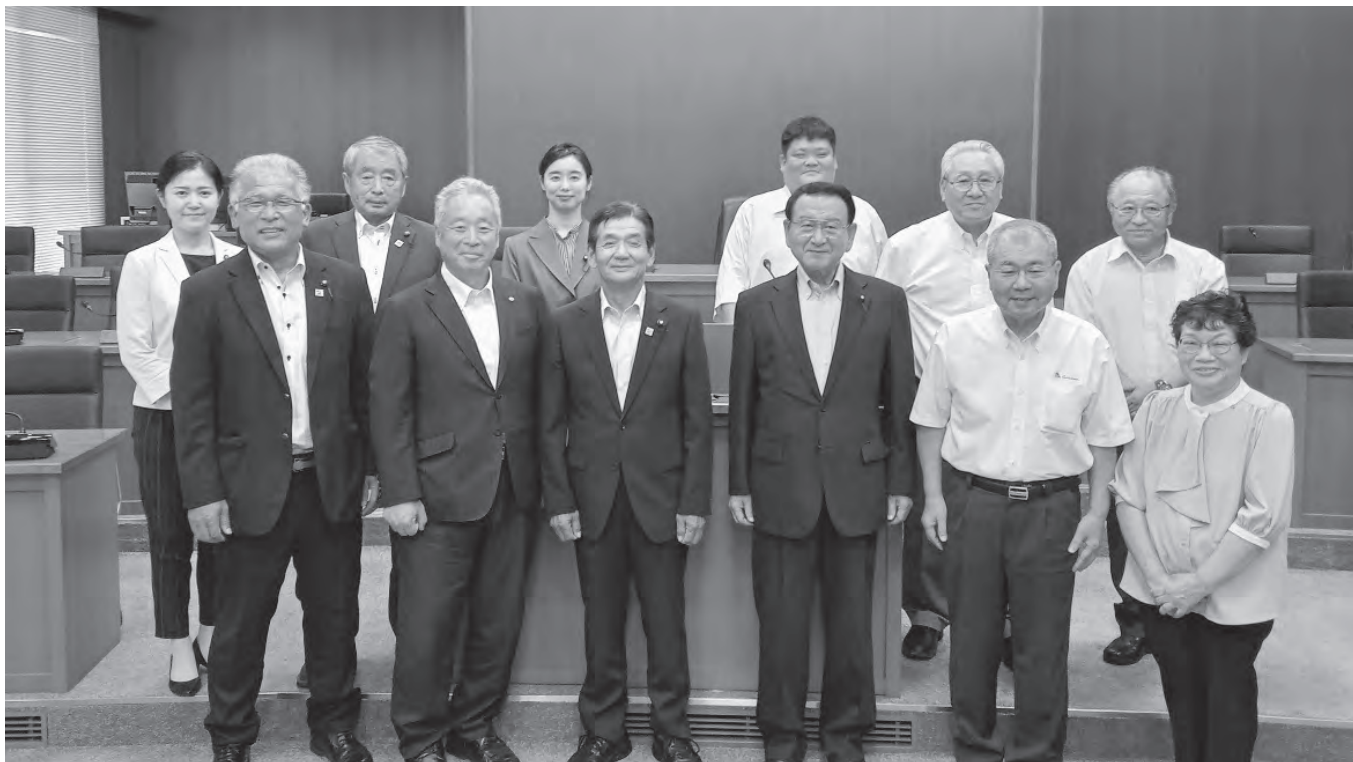


7月24日 鹿児島県湧水町議会にて

湧水町議会は、議長及び事務局長に対応していただいた。

湧水町議会においては、令和2年度に整備検討委員会を設置し、執行部も交えて検討を重ねた後、令和3年度に導入されている。





7月25日 鹿児島県さつま町議会にて

さつま町議会は、議長と議会運営委員に対応していただいた。

さつま町議会においては、平成17年度から本会議においてライブ中継を導入し、ライブ中継の視聴者数は20～30人で、録画分の視聴者数は、200～300人である。

また、ライブ中継になれば、発言内容の訂正や取消しが難しく、議員も緊張感があって良いという意見や、議会の質が上がったという意見が多くあった。

町民においては、議場に行けなくてもパソコンやスマートフォンで視聴でき、議会への関心が高まり、導入してよかったという意見が多数あり、当町においても、今後導入する予定である。



ライブカメラ機器の操作研修



議会改革推進特別委員会 × 地域おこし協力隊

議会改革推進特別委員会 福永 啓

議会改革推進特別委員会では、広く皆さまのお声を伺いながら、さらなる議会改革を進めると同時に、議会待遇の在り方についての議論を進めている。今回は、御船町に移住し、地域支援活動を行っている「地域おこし協力隊」の方々と意見交換を行った。

Q1 議員報酬等、議員の待遇について ご存じか

- 知らない 4人
- 少しは知っている 4人
- 大体知っている 0人

Q2 議員の待遇は、会社員や公務員に比べて、どの程度が適切だと思うか

- 一般的会社員や公務員の平均と同じ程度 5人
- 一般的会社員や公務員の平均以上 3人
- 一般的会社員や公務員の平均以下 0人

Q3 議会及び議員に対してどのような役割を望むのか

- 町民の届かない意見を議会に届けて頂くというのが1番。行政のサービスの細かいところを議員に直で話して改善してもらえたら良い。
- 行動を起こす際行き詰まることがあるので、方法等をアドバイスして頂けると嬉しい。

- 特にないというがおそらく御船町民の大多数のご意見じゃないかと思う。地元の意見吸い上げ、地元が無い方でも、1200人くらいの意見を吸い上げるくらいの気持ちで議員活動をしていただきたい。
- 御船町がどう変わっていきますよということを議会からも行政からも情報発信が欲しい。
- 正直議員は何をしているかわからない。だから何を願っていてよいのかもわからない。そういう人に伝わるようにSNS等で活動を発信して欲しい。
- 議員との接点もないので、身近に自分の意見が言える場所があればと思う。



議会改革推進特別委員会



Q4 議会及び議員が役割を果たすためにどのような議会改革が必要だと思うか

- 意見が言える場所を定期的に設けて頂ければ。日常会話の中でも良いので意見を吸い上げてほしい。
- 町の担当者までにしか伝わらず、上司に話がいっていないことが今まであった。議会の立場で町に意見を伝えていってもらえたら。
- 他の市町村で公聴会を行ったら、議員の立候補が増えたと聞いた。顔を合わせる機会があれば少しは変わるのかなと思う。
- 各議員さんの考え方等傾向がわからない。どの議員に相談すると良いかわからない。誰に話していいかわからない。相談しやすい雰囲気づくり。
- 議会改革の必要性がわからない。逆に御船町の議員がどうしたいのかを提示してほしい。
- 議会に興味がそもそもない人が多いのでは。子どもも大人も議会と接するようなイベント等で意識付けをしていくと良いのでは。
- 親しくしている議員がいるので、その人を通じて議員の仕事がわかるようになった。議員と話す時間は勉強になる時間になっているので議員と話す場所がそれぞれにあれば良い。

町外からの移住者でもあり、年齢層が比較的若い方々から、まさに「忌憚のない」意見を伺うことが出来、議会改革と議員のなり手不足解消のヒントが数多く含まれた意見交換となった。議会改革推進特別委員会では、今後とも様々な方々との意見交換を続け、そこで出された意見を吸収しながら、更なる議会改革を推し進めていきたい。

Q5 「議員になろう」と思った時に何が障害になると思うか

- 報酬が少額。責任に対する賃金が見合っていない。
- メンタルが買けるのか。
- 地元との関係が深くないといけないのでは。
- 通年議会が嫌だ。でも住人サービスは通年議会なのでスピーディー。
- 「町長派」「反町長派」どちらかにつく必要があるのか。そういうことに関わりたくない。
- 人の顔色を伺うようなことが無理なのでそもそもなりたくない。
- デメリットメリットを考えた時にメリットがない。
- ボランティア精神で出来る人しかねない。

Q6 情報発信する方法について

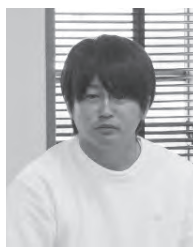
- 広報誌に1度載せたことで、町全体に周知できた気になっていないか。
- 目を引くもの。議会全体で何か1つ成し遂げる等はわかりやすいのではないか。

ご協力いただいた
御船町地域おこし
協力隊の皆さま

ご協力
ありがとう
ございました



赤塚隊員



上地隊員



長内隊員



米村隊員



辰巳隊員



水口隊員



山下隊員



浦野隊員



私が頑張ったこと、 今頑張っていること



御船高等学校3年
生徒会長
湯木千尋
(2丁目)

私は、学校を良くしたいという先輩方の思いに共感し3年間生徒会に所属しました。先輩方の卒業後も活気のある学校にするべく様々な行事や部活動を頑張ってきました。特に体育祭ではコロナ前の活気を取り戻すべく先生方と話し合い小道具の制作や御船川下りなどの伝統競技の復活等を生徒会を始め全校生徒と切磋琢磨し頑張りました。また、本校の部活動では、部活動の加入率が少なく自分なりにどうすれば活性化に繋がるのかと考え茶道部や華道、煎茶道

部などの複数の部活動に所属しました。今は、将来に向けて勉強や部活動を頑張っています。私は将来、日本語教師として海外で働きたいと思っています。そのため、国語や苦手な英語の勉強を特に頑張っています。日本語教師として働いて、日本の文化や、伝統文化を海外の人に知ってもらい海外からの注目を集め、内側だけでなく外側から日本の伝統文化の活性化に繋がる機会になればいいなと思っています。

9月の議会

- 1日(金) 全員協議会
- 7日(木) 議会(予定)
- 15日(金)
- 26日(火) 町村議会広報研修会
- 27日(水) (東京都)

半世紀見守り続けている 船太郎

昔々、眼鏡橋の下流に住んでいた河童の船太郎の悪さに困った人たちが、仲良くなると夏祭りに招待すると、悪さをしなくなり御船の商売も繁盛したという言い伝えが「があーっぱ祭」の起源。

(左から船太郎、ふね美、お福、竜)



議会HPは
こちら



議会報告会開催しました

例年開催している「議会報告会」を7月29日に総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の2班に分かれて開催した。開催場所はカルチャーセンターと上野保育園で行われ、それぞれ14人と31人の参加があった。意見交換等詳細は9月号にて掲載予定。

総務文教
常任委員会
in
カルチャー
センター



産業厚生
常任委員会
in
上野保育園

